

まち・ひと・しごと創生

伊賀市長と子育て世代との座談会

～25年後のあなたと伊賀市～



日時：平成27年9月28日（月） 10時00分から
場所：ハイトピア伊賀 4階 健康ステーション

まち・ひと・しごと創生とは

- ◇ 日本の人口は、子どもの数の減少などによって、現在の約1億2,000万人から50年後には8,600万人に減少すると予想されています。
- ◇ そこで国は、昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」という法律をつくり、日本の人口減少に歯止めをかけるための取組を進めています。
- ◇ 伊賀市の人口も、現在の約97,000人から、50年後には約53,000人に減少すると予想されていることから、これからもできるだけ多くの方が伊賀市に住んでいただき、伊賀市の人口を維持できるよう、目指すべき将来の方向や、必要な取組を検討しているところです。

「子育てをする皆さんにとって住みやすいまちとは」

将来の人口について、国や伊賀市では、2世代先を見据えた25年後（2040年）を大きな節目と位置づけており、活力あるまちをこれからも維持していくために、今後5年間に取り組むべきことをとりまとめているところです。

「25年後の伊賀市」を考えるにあたり、実際に子育てをされている世代の皆さんの率直な意見をお聞かせください。

1. 今の伊賀市について
2. 子育てをする女性にとって住みやすいまちとは
3. 将来の伊賀市について

「伊賀市長と子育て世代との座談会」での主な意見等の概要

日 時：平成27年9月28日（月）10：00～

会 場：ハイトピア伊賀4階 健康ステーション

参加者：13名

1 今の伊賀市について

○伊賀のいいところ

- ・自然が豊かということがすごく子どもにとってもいいなと思っている。
- ・伊賀は関西に近い。大阪出身だから親しみやすい。
- ・人間関係で嫌と思うことがなかった。皆いい人という印象。
- ・日本の中でも本州の真ん中ぐらいにあるので、いろんなところに旅行に出掛けやすい。
- ・歴史的な建造物が残っていたり、忍者を生かしたイベントを最近しているので、愛着を持っている。昔からのものも大切にしている。
- ・子育て支援センターが多い

○伊賀の足りないところ、もっとこうしてほしいところ

- ・すぐ気軽に行ける公園が身近にない。公園に行くのも車が必要。
- ・歩く前の子どもが行けるような公園がない。以前住んでいたところはスーパーでも少しはスペースがあった。伊賀市にはそういうところがない。
- ・トイレ設備が不十分。
- ・結婚や就職などで地元から離れた子が帰ってきたときに、遊びに行くところがない。ご飯を食べにいくのも子どもがいるとゆっくりできるところが少ない。
- ・屋内でお弁当を食べる場所がないので困っている。ハイトピアはいろいろな方が使っているので、子どもを連れて行きづらい。

○近隣自治体と比較して

- ・名張の方が施設を選べる。安いところがたくさんある。カラオケにしても名張は何箇所もある。
- ・奈良にはショッピングモールがある。食べて、しゃべれて、見るところもあって楽しい。
- ・伊賀は車の駐車スペースが狭い。
- ・30分かけたら鈴鹿に行ける。鈴鹿行ったらモールがある。大体の人は皆モールに行く。
- ・伊賀にはスタンダードのものがあまりない。
- ・『げいのう わんぱーく』は土日、祝日もしていて、市内、市外からも来てもいい施設。大きなお子さんから小さい乳幼児のスペースもそこにあって、弁当も持って行けるし、

ボルダリングがあって1日遊べると聞いた。大きな施設はなくても、そういう施設があればと思う。

- ・お金を払うので、ハイトピアを土日もあけてくれたらいい。

2 子育てをする女性にとって住みやすいまちとは

○保育園について

- ・保育園が決まっていないと職探しができない。仕事の面接に行くと保育園は決まっていますか？一方で保育園に預けたいと相談に行くと、仕事決まっていますか？と聞かれる。
- ・独身の時に保育士とか幼稚園で働いていた子の復職は、ほぼゼロに等しい。
- ・保育士は朝8時から働かなきゃいけないし、絶対残業がつきものなので、自分の子育てとの両立が難しい。臨職を含め保育士の処遇改善（給料や働き方）が必要だと思う。
- ・保育士の復職については、全国的なことだと思うが、伊賀は特に戻りづらい。名張市は短時間、午前保育などが多く、職場復帰される方も多い。
- ・希望が一部の保育所等に集中している。家や職場から遠く離れたところなら、空いていると言われるが、そこに預けたら仕事に行けない。

○子育て基金の使い道

- ・医療費助成の所得制限がなればいい。東京とかは基本高校生18歳まで無料。市役所で手続きすれば、ずっと無料で医療費が受けられる。
- ・住民票がなくても里帰りの時に伊賀で予防接種が受けられたらいい。
- ・子どもは病気が多く、サポートを受けるには1時間700円かかる。自分で子どもを見ようと思えば、仕事を休まざるをえず、会社に迷惑をかけることになる。半額とか1時間100円とか金銭面での支援をしてほしい。
- ・国ではもっと老人施設が必要だと言っているが、福祉施設プラス保育所っていう施設もあるらしい。高齢者が子どもをみてくれれば、たくさんの目があって保育士も助かる。そんな素敵な施設があればいいなと思った。
- ・私の近所は共働きが多く、小学生はみんな鍵っ子。子どもと高齢者がそれぞれ別々に過ごしている。一緒に活動できるなにか良い案があればいいなと思う。

3. 将来の伊賀市について

○来たい、住みたい、住み続けたいまちになるには

- ・ニンニンジャーが流行っているので、忍者を推すしかないと思うが、結局忍者の格好をして歩いて終わり。なんかもうちょっとあっていいのでは。
- ・忍者衣装に着替えるだけではなく、ちょっとした体験施設、ボルダリングなど体を動かして何かできるものがあるといい。

○農業について

- ・野菜が買やすい、美味しい野菜が食べられるということ売りにはどうか。
- ・伊賀米はすごく美味しい。
- ・農機具を購入するのは大変なので、貸し出しできればよい。
- ・お米の苗を植えたり、成長をみること、体験することは、子どもにとってもよい経験なので、もっと積極的に行うべき。
- ・お金を払ってでも農業をしたい家庭はあると思う。
- ・農業体験を積極的に行うべき。

○子どもさん達が大人になったとき、この街どんな風になってたら、親としては安心か。

- ・働く場所が確保されていてほしい。
- ・理系じゃなくても働ける場所があってほしい。
- ・老人施設は求人が多いし、実際に働くと楽しいこともいっぱいある。子どもの頃から高齢者と触れ合う機会をつくることで、将来その仕事に就きたいと思う人を増えると思う。

○その他伊賀市の将来に望むこと

- ・都心部に通いやすいつつという方向性を出すべき。
- ・伊賀神戸駅は特急が停まるのになにもない。
- ・駅近くに大きな施設があればいい。
- ・良さをもっとアピールしていかないと。情報発信が足りない。
- ・伊賀市民が良さに気づいていない。
- ・救急医療の充実。救急車がどこに行くかわからない不安。